

福岡都市圏南部最終処分場維持管理記録

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第9条の3第7項にもとづく記録

(閲覧開始日:平成31年 3月31日)

(追 記 日:平成 年 月 日)
福岡都市圏南部環境事業組合

1 処分した廃棄物（平成31年2月分）

種 類	一般廃棄物焼却残渣
台 数	110 台
重 量	1,048.28 t

2 周縁地下水の水質

(1) 最終処分場

測 定 結 果								
水質検査の実施に係る法令等の根拠及びその項目		採取年月日	採 取 場 所		地下水等適合基準		測定結果の得られた年月日	測定頻度
			上流(No.1)	下流(No.2)	下流(No.3)	基準値	定量下限値	
1	塩化物イオン	平成31年2月18日	61	23	7	—	0.1	平成31年3月7日
2	アルキル水銀	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005	年1回
3	総水銀	-	-	-	-	0.0005mg/L以下	0.0005	〃
4	カドミウム	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.0003	〃
5	鉛	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.001	〃
6	六価クロム	-	-	-	-	0.05mg/L以下	0.005	〃
7	砒素	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.001	〃
8	全シアン	-	-	-	-	検出されないこと	0.1	〃
9	ポリ塩化ビフェニル	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005	〃
10	トリクロロエチレン	-	-	-	-	0.03mg/L以下	0.003	〃
11	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.001	〃
12	ジクロロメタン	-	-	-	-	0.02mg/L以下	0.002	〃
13	四塩化炭素	-	-	-	-	0.002mg/L以下	0.0002	〃
14	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	0.004mg/L以下	0.0004	〃
15	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	0.02mg/L以下	0.01	〃
16	1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	0.04mg/L以下	0.004	〃
17	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	1mg/L以下	0.1	〃
18	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	0.006mg/L以下	0.0006	〃
19	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	0.002mg/L以下	0.0002	〃
20	チウラム	-	-	-	-	0.006mg/L以下	0.0006	〃
21	シマジン	-	-	-	-	0.003mg/L以下	0.0003	〃
22	チオベンカルブ	-	-	-	-	0.02mg/L以下	0.002	〃
23	ベンゼン	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.002	〃
24	セレン	-	-	-	-	0.01mg/L以下	0.001	〃
25	1,4-ジオキサン	-	-	-	-	0.05mg/L以下	0.005	〃
26	クロロエチレン	-	-	-	-	0.002mg/L以下	0.0002	〃
措置の必要性		なし						

3 放流水の水質

浸出水処理設備

・採取場所 総合放流槽

・放流先 大野城市公共下水道

測 定 結 果						
水質検査の実施に係る法令等の根拠及びその項目		採水年月日	測定値	下水排水基準		測定結果の得られた年月日
				基準値	定量下限値	
1	カドミウム及びその化合物	—	—	0.1mg/L以下	0.003	—
2	シアン化合物	—	—	1mg/L以下	0.1	—
3	有機燐化合物	—	—	1mg/L以下	0.1	—
4	鉛及びその化合物	—	—	0.1mg/L以下	0.01	—
5	六価クロム化合物	—	—	0.5mg/L以下	0.05	—
6	砒素及びその化合物	—	—	0.1mg/L以下	0.01	—
7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	—	—	0.005mg/L以下	0.0005	—
8	アルキル水銀化合物	—	—	検出されないこと	0.0005	—
9	ポリ塩化ビフェニル	—	—	0.003mg/L以下	0.0005	—
10	トリクロロエチレン	—	—	0.3mg/L以下	0.01	—
11	テトラクロロエチレン	—	—	0.1mg/L以下	0.01	—
12	ジクロロメタン	—	—	0.2mg/L以下	0.02	—
13	四塩化炭素	—	—	0.02mg/L以下	0.002	—
14	1,2-ジクロロエタン	—	—	0.04mg/L以下	0.004	—
15	1,1-ジクロロエチレン	—	—	1mg/L以下	0.1	—
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	—	—	0.4mg/L以下	0.04	—
17	1,1,1-トリクロロエタン	—	—	3mg/L以下	1	—
18	1,1,2-トリクロロエタン	—	—	0.06mg/L以下	0.006	—
19	1,3-ジクロロプロペン	—	—	0.02mg/L以下	0.002	—
20	チウラム	—	—	0.06mg/L以下	0.006	—
21	シマジン	—	—	0.03mg/L以下	0.003	—
22	チオベンカルブ	—	—	0.2mg/L以下	0.02	—
23	ベンゼン	—	—	0.1mg/L以下	0.01	—
24	セレン及びその化合物	—	—	0.1mg/L以下	0.01	—
25	ほう素及びその化合物	—	—	10mg/L以下	1	—
26	ふっ素及びその化合物	—	—	8mg/L以下	0.8	—
27	1,4-ジオキサン	—	—	0.5mg/L以下	0.05	—
28	フェノール類	—	—	5mg/L以下	0.5	—
29	銅及びその化合物	—	—	3mg/L以下	0.3	—
30	亜鉛及びその化合物	—	—	2mg/L以下	0.2	—
31	鉄及びその化合物(溶解性)	—	—	10mg/L以下	0.5	—
32	マンガン及びその化合物(溶解性)	—	—	10mg/L以下	0.5	—
33	クロム及びその化合物(溶解性)	—	—	2mg/L以下	0.2	—
34	水素イオン濃度	平成31年2月14日	7.1	5以上9以下	—	平成31年2月27日
35	生物化学的酸素要求量(BOD)	平成31年2月14日	1.5	5日間の600mg/L未満	0.5	平成31年2月27日
36	浮遊物質(SS)	平成31年2月14日	1未満	600mg/L未満	1	平成31年2月27日
37	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類)	—	—	5mg/L以下	1	—
38	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	—	—	60mg/L以下	1	—
39	沃素消費量	—	—	220mg/L未満	1	—
措置の必要性		なし				

注 ・「検出されないこと」とは、当該測定方法の定量限界を下回ることをいう。

・「定量下限値」とは、その分析法で正確に定量できる最低濃度のことをいう。

4 施設の点検

項 目	点検日	点 検 箇 所	異常の有無
擁壁等	平成31年2月26日	天端コンクリート	無
		堤外地側	無
遮水工	平成31年2月26日	左岸側	無
		右岸側	無
		貯留締切堤	無
調整池	平成31年2月26日	浸出水調整池	無
浸出水処理設備	平成31年2月26日	浸出水調整槽	無
	平成31年2月26日	処理設備	無
		送水管	無
措置の必要性	なし		

5 ダイオキシン類の測定

測 定 結 果							
項 目	採取年月日	最終処分場			水質環境基準値 （ 周縁地下水 ）	測定結果の 得られた年月日	測定頻度
		上流 (No.1)	下流 (No.2)	下流 (No.3)			
ダイオキシン類濃度	－	－	－	－	1pg-TEQ/L以下	－	年1回
措置の必要性	－						
項 目	採取年月日	浸出水処理施設 （ 総合放流水 ）			水質排出基準 （ 放流水 ）	測定結果の 得られた年月日	測定頻度
ダイオキシン類濃度	－	－			10pg-TEQ/L以下	－	年1回
措置の必要性	－						

6 残余の埋立容量

規定項目	測定年月日	測定結果	測定頻度
残余の埋立容量	－	－	年1回